



あの日、午後2時46分に発生した大地震。岩手、宮城、福島、福島の3県を中心に大きな被害の出た東日本大震災、福島第1原発事故から明日3月11日で12年になります。2月28日発行の「阿波っ子タイムズ」(全児童に配布)でも大きく取りあげられていましたが、この震災で亡くなった人は1万5900人、行方不明の人は2523人にもなっていました。そして、12年たった今でも自分の家を離れて避難したままの人が約3万1000人もいるとのこと。復興は進むも、まだ、住んでいた場所に戻れないことが課題になっています。

私たちができることは、大災害を忘れないということです。『災害は忘れたところにやってくる』『備えあれば憂いなし』ということわざもあります。いつ海陽町に大災害が起こるか分かりません。「南海トラフ巨大地震」は、マグニチュード8~9の地震、そして津波が30年以内に70%から80%の確率で起こると言われています。学校でも、事前の危機管理として「災害対応マニュアル」の見直しや、発生時の危機管理として「避難訓練」をしています。

地震は登下校中、学校あるいは家にいるときなど様々な場面で起こりえます。家にいて地震が発生したとき、あわてず行動できるように、いざというときに備えて、「家の中での安全な場所」「避難路、避難場所の確認」「避難するとき、誰が何をもち出すかの役割分担」「家族がバラバラに離れたときの連絡方法」「災害時の必需品の備え」などを今一度、ご家族で話し合っておいてほしいと思います。

6年生を送る会

3月1日(水)、給食後の13:10~14:15に体育館で6年生を送る会を実施しました。5年生は、自分たちが計画・準備・進行する初めての集会を運営しました。メインはクイズ大会と思いのアルバムです。クイズ大会前半は「6年生3択クイズ」。6年生一人一人にまつわる興味深いクイズを4つのこにこ班対抗で回答し、再発見していきました。後半は「海部小学校〇×クイズ」。海部小学校や先生にまつわる数やものなど、アイデアを凝らして出題・回答し盛り上がりました。そして「思い出のアルバム」。6年生の1年生時から学年ごとの写真スライドショーを5年生が制作し披露しました。BGMにのせて懐かしいシーンをみんなで振り返り味わいました。そのあと、1~5年生は学年ごとに6年生一人一人へお礼の言葉とプレゼントを贈りました。最後に6年生から一人ずつメッセージを伝え、6年生からも各学年代表に全員分のプレゼントを贈りました。もうすぐ卒業、ありがとうの気持ちで楽しみました。6年生の皆さん、リーダー学年として頑張りぬきました。いっぱいのお思い出をありがとうございました。5年生の皆さん、はきはき・きびきびとした運営がたいへん素晴らしかったです。



いよいよ卒業証書授与式です。

来週16日(木)は、6年生が巣立ちのときを迎えます。学校では、卒業証書授与式の練習と準備を進めています。礼や姿勢、歌や呼びかけをしっかり練習し、今週から全体練習を始め、昨日9日(木)に予行練習を行いました。厳粛な中で感謝の気持ちを伝えながら心通わせる卒業式を目指します。



3/6 全体練習開始